

! Access 2007/2010での注意

Access 2007/2010のフォーム作成ツールでは、フォームを作成するとコントロールレイアウトが設定されて、自動的にヘッダーにロゴやラベルが生成されます。本項のフォーム作成においては、それらは削除しておくことを前提とします。コントロールレイアウトの削除方法については、04-03「コントロールのデザインを調整する」を参照してください。

「見積入力編集」画面は「見積 No」フィールドでリンクするメイン/サブフォーム形式のフォームです。メインフォームは単票形式の「frm 見積入力編集」フォーム、サブフォームは表形式の「frm 見積入力編集_sub」フォームとします。

ここでは、フォーム作成ツールで大まかなフォームを作成して、以下のようにデザインを変更します。

- 「顧客コード」はコンボボックスに変更する
- 「商品コード」はコンボボックスに変更する
- 「消費税率」は書式を%表示にする
- サブフォームには、テキストボックスの演算で「税抜合計」を表示する
- 「税込合計」はメインフォーム側の「消費税率」を参照することから、メインフォーム側のテキストボックスとして配置する

➡ サブフォームの作成

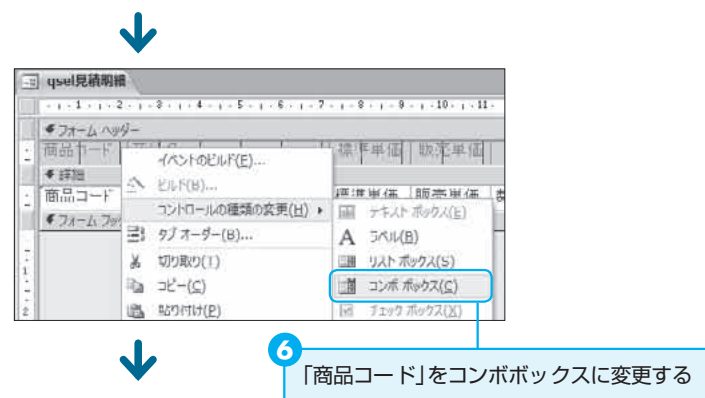
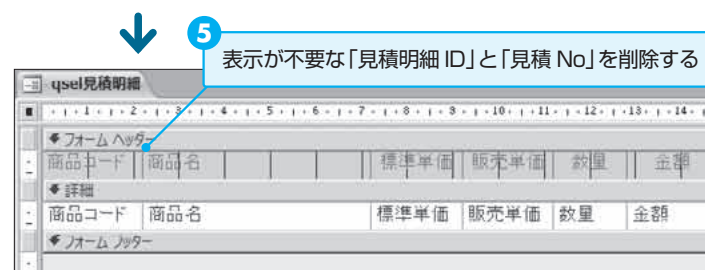
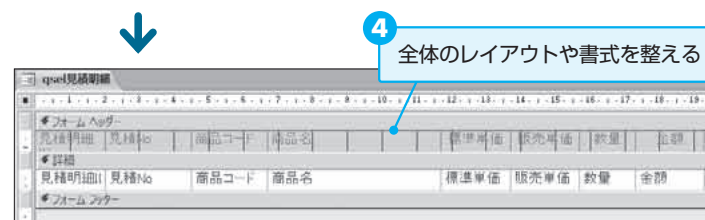
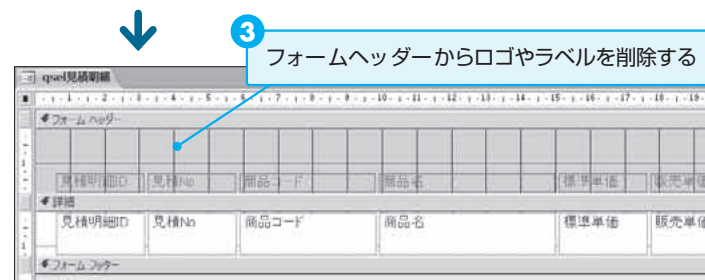
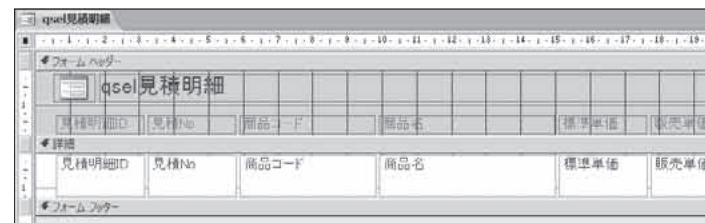
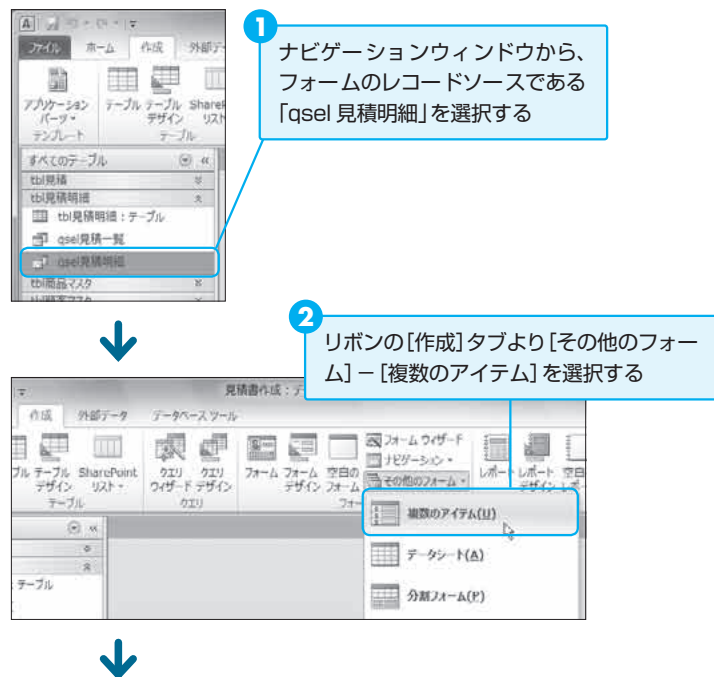
メインとサブのどちらのフォームを先に作成してもかまいませんが、ここでは分かりやすいように、サブフォームから作成します。

👉 Access 2007の場合

Access 2007では、手順②で「作成」タブの「フォーム」→「複数のアイテム」ボタンをクリックします。

👉 Access 2002/2003の場合

Access 2002/2003では、手順①～②でデータベースウィンドウから「フォーム」を選択して「新規作成」ボタンをクリックします。次に、「新しいフォーム」画面で「オートフォーム：表形式」および元となる「qsel 見積明細」クエリを選択して、「OK」ボタンをクリックします。



📝 タブオーダーの変更について

手順⑥のように、既存のコントロールの種類を変更するとタブオーダーは最後に設定されます。コントロールの種類を変更したら、その位置関係を考慮して、タブオーダーが並び順通りになるように直しておきましょう。

プロパティシートを表示するには？

プロパティシートが表示されていない場合は、リボンの「デザイン」タブにある「プロパティシート」ボタンをクリックするか、「詳細」セクション内のコントロールを右クリックしてショートカットメニューの「プロパティ」を選択します。

7 「商品コード」のデータ関連プロパティを設定する

- ・値集合ソース：tbl 商品マスタ
- ・入力チェック：はい

8 「商品コード」の書式関連プロパティを設定する

- ・列数：2
- ・列幅：1.801cm
- ・リスト幅：7 cm

9 フォームフッターにテキストボックスを追加する

10 追加したテキストボックスのプロパティを設定する

- ・名前：税抜合計
- ・コントロールソース： $=\text{Sum}([\text{金額}])$
- ・書式：通貨(または¥¥#,###)

11 フォームに名前(ここでは「frm見積入力編集_sub」)を付けて保存する

メインフォームの作成とサブフォームの配置

続いて、メインフォーム作成します。先ほど作成したサブフォームをコントロールとして配置します。

1 フォームのレコードソースである「qsel見積」を選択して、リボンの「フォーム」ボタンをクリックする

2 不要なコントロールを削除して、全体のレイアウトや書式を整える

Access 2002/2003の場合

Access 2002/2003では、手順①でデータベースウィンドウから「フォーム」を選択して「新規作成」ボタンをクリックします。次に、「新しいフォーム」画面で「オートフォーム：単票形式」および元となるクエリとして「qsel見積」を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

削除するコントロール

手順②では、作成されたフォーム上にあるコントロールのうち、「敬称」を削除しています。